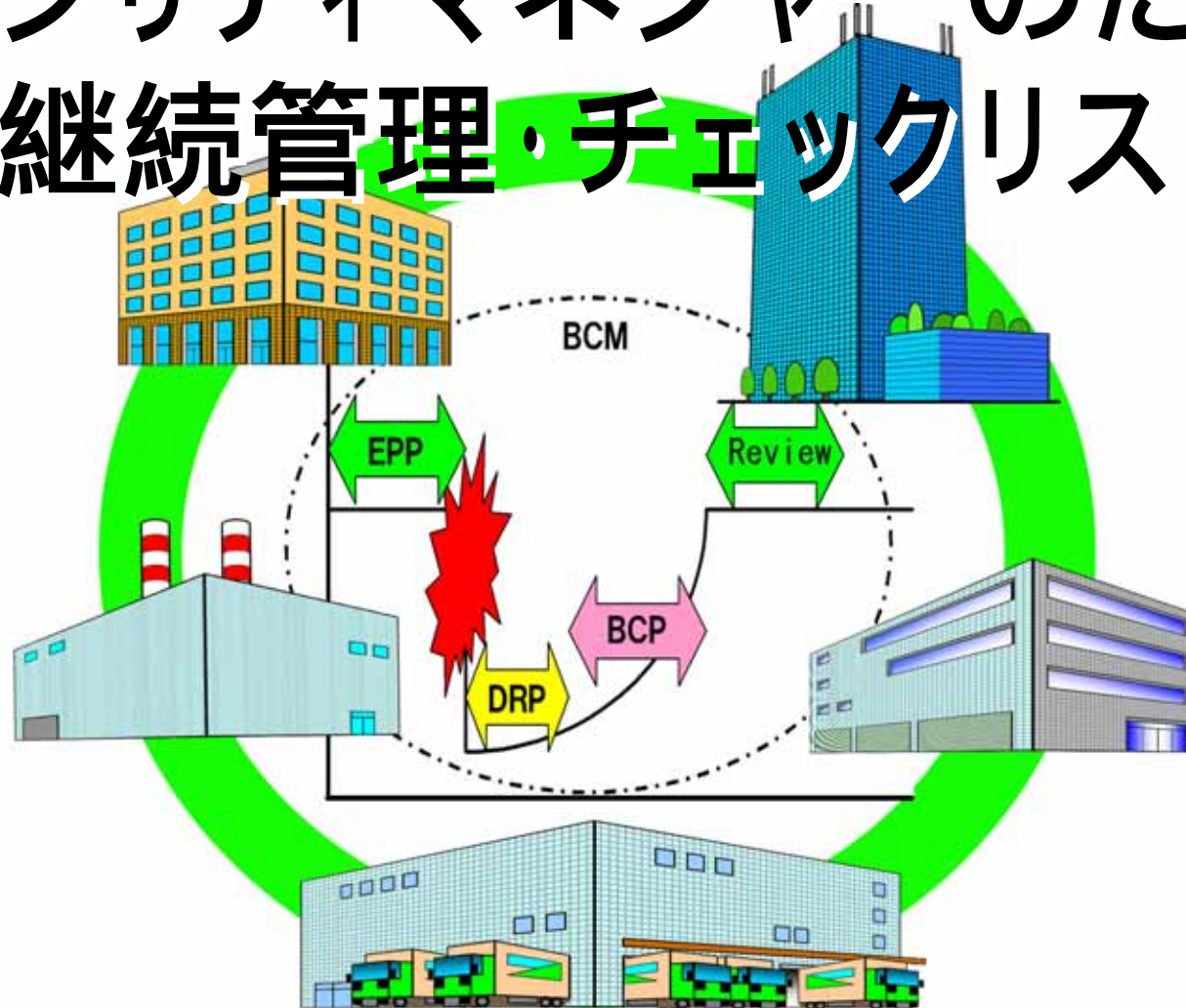


ファシリティマネジャーのための 事業継続管理・チェックリスト解説



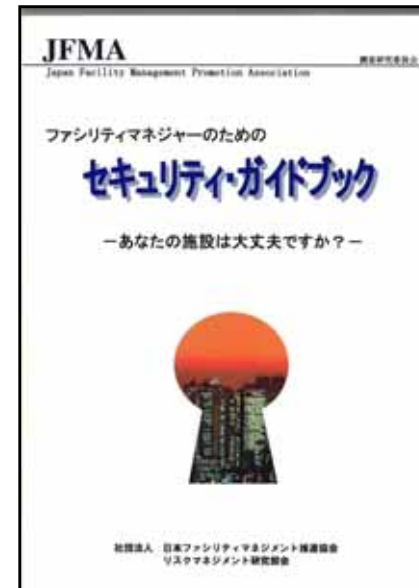
JFMA フォーラム2009
リスクマネジメント研究部会

リスクマネジメント研究部会紹介

ファシリティマネジメント業務においては「ファシリティ」を経営資源と考え、様々なリスクに備え、対応する必要があります。

私たち「リスクマネジメント研究部会」は、FMの現場に役立つ管理手法を研究しています。

毎月1回、JFMA会議室にて定例会を行い情報交換等を行っております。参加ご希望の方は、JFMA事務局までご連絡下さい。

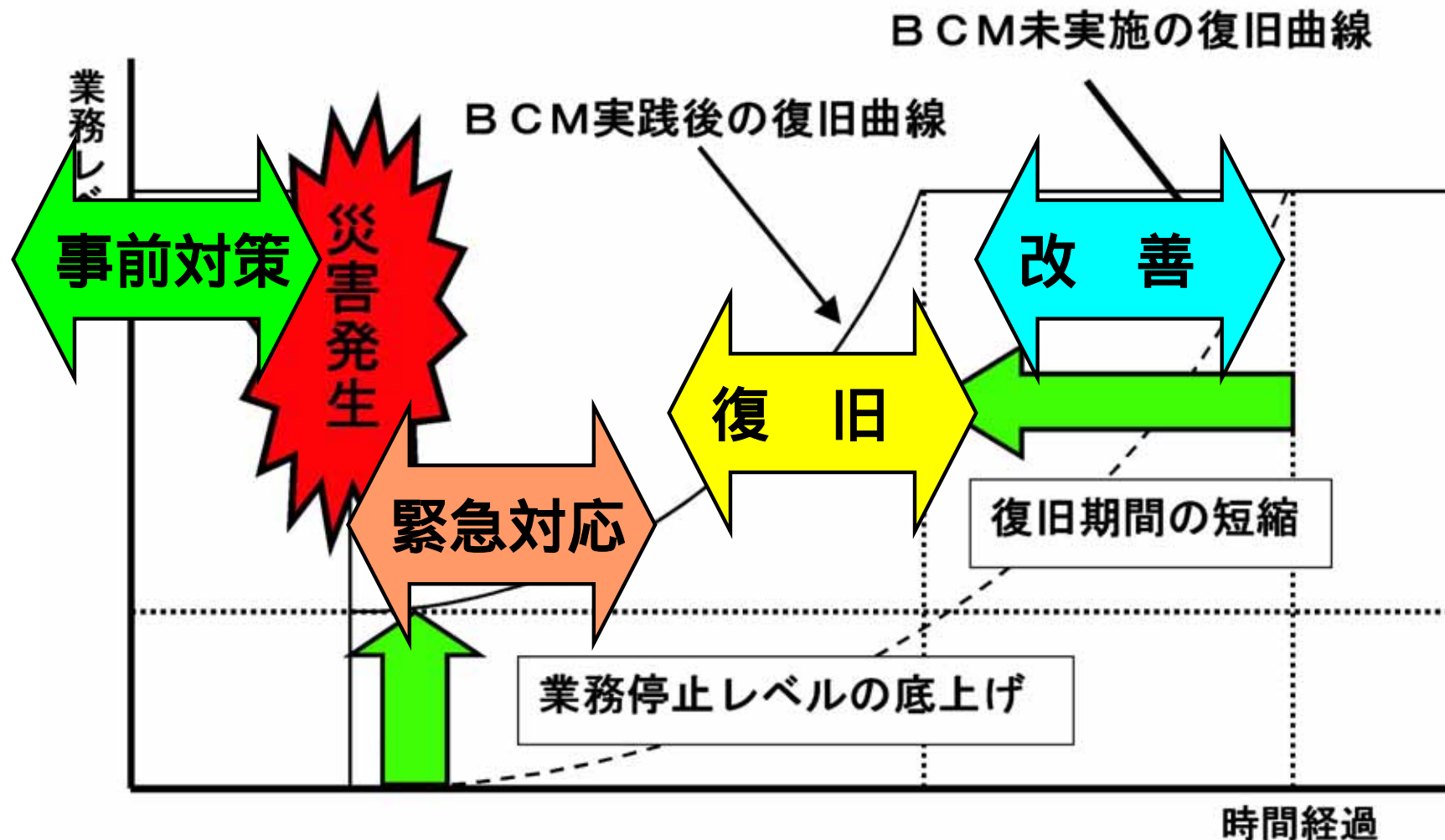


2008年8月発行

2003年6月発行



事業継続管理のイメージ

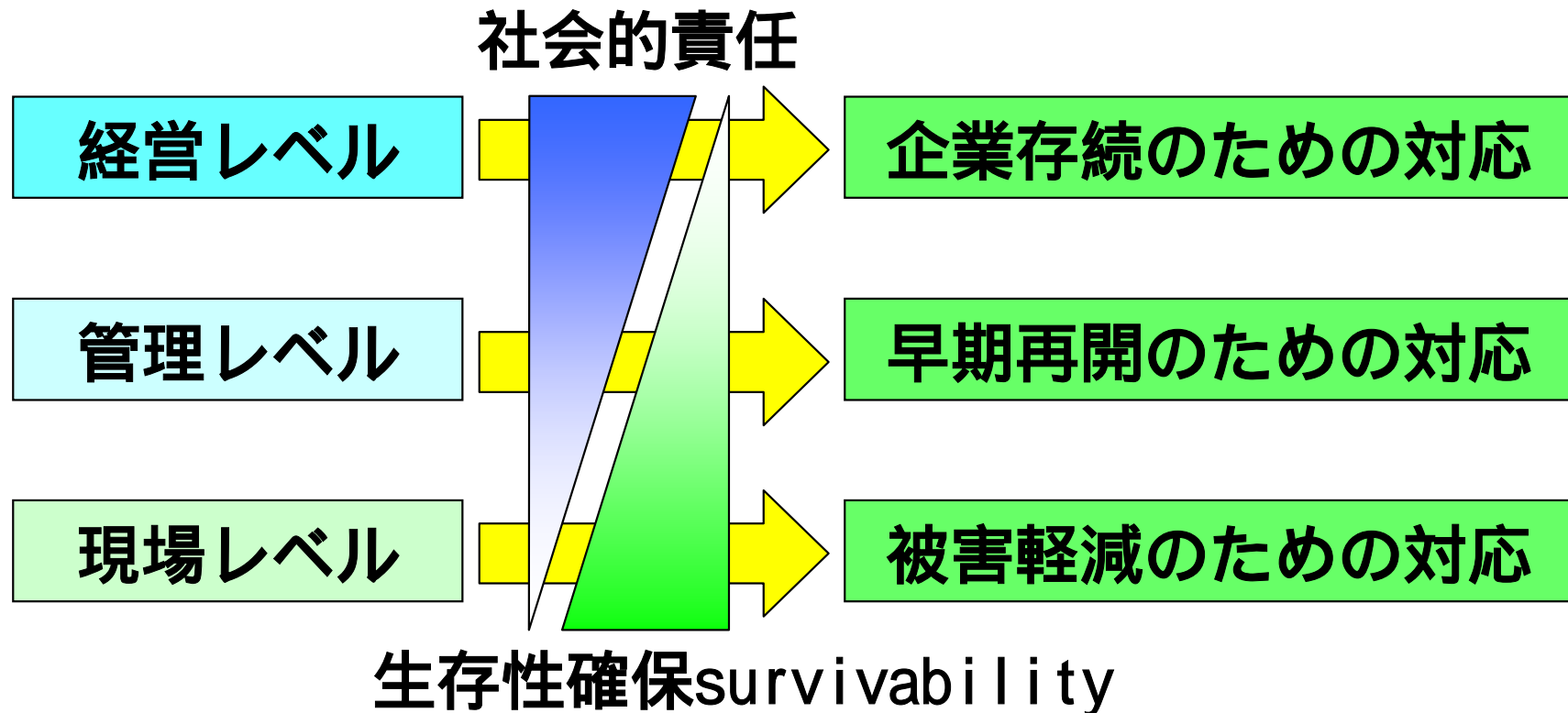


計画推進

F M		B C M
統括マネジメント		B C M
F M戦略・計画	F M戦略	事業継続の基本方針
	中長期実行計画	事業継続の実施計画
プロジェクト管理	ワークプレイスづくり	リスク体制の強化
	施設賃貸借	
	不動産取得	
	建物建設	
	大規模改修	
運営維持	維持保全	D R P 及び業務復旧の実務
	運用管理	
	サービス	
評価		B C Mの有効性評価 4

計画推進

企業の事業継続検討チームは、事業継続管理においても様々な要素の一つとして「業務用不動産に関する事項」について検討する必要があります。ファシリティマネジャーは、施設運用管理の専門家としてファシリティマネジメントの手法を活用し役割を果たすこととなります。



計画推進・チェック項目

事業継続計画に関する「基本方針」が作成されている。

基本方針に沿った活動を行うために必要な予算や要員などの経営資源が明確となり、確保されている

事業継続計画は、経営トップが了承した企業全体の経営計画の中に含まれている。

ファシリティマネジャーの責任範囲や権限が明確になっており、指揮命令系統に位置づけられている。

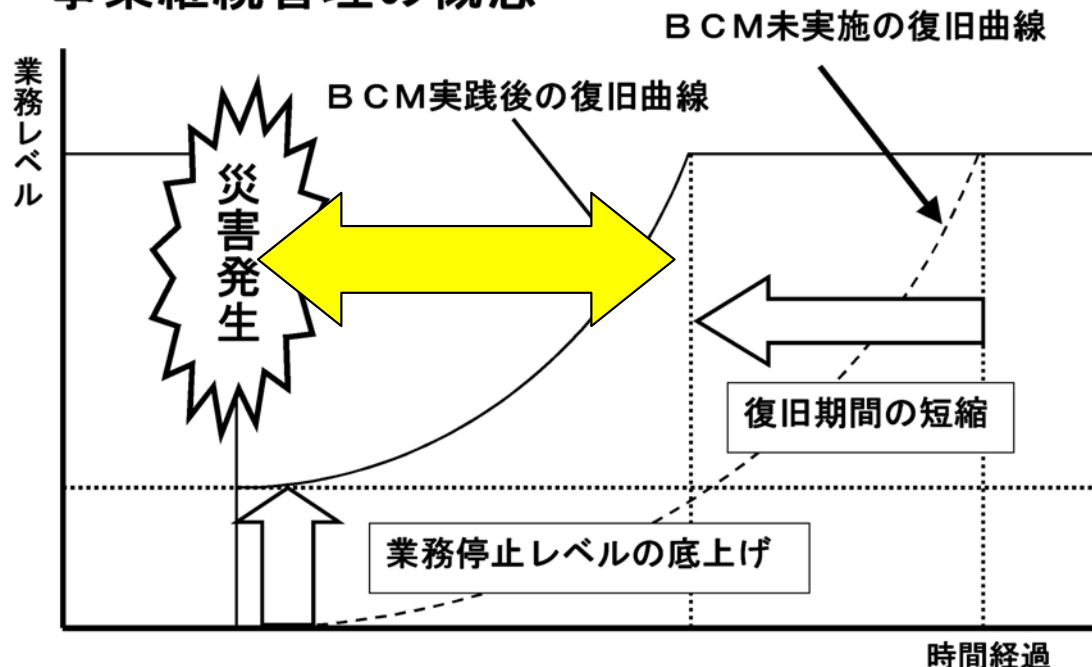
他の担当者との役割分担や円滑な情報共有の仕組みが確立されている。

目標復旧時間

「どういう場合に、目標復旧時間をどの場所で達成するか」ということであり、これにはFM部門の「分からない」を含めた情報提供と経営層の理解が必要になります。

大切なのは、ファシリティマネジャーが実態を出来るだけ客観的に正確かつ明快に経営層に伝えることです。

事業継続管理の概念



実行可能な目標
復旧時間でなくてはならない。

目標復旧時間

目標復旧時間を検討するにあたり、重要業務と経営資源が特定されている。

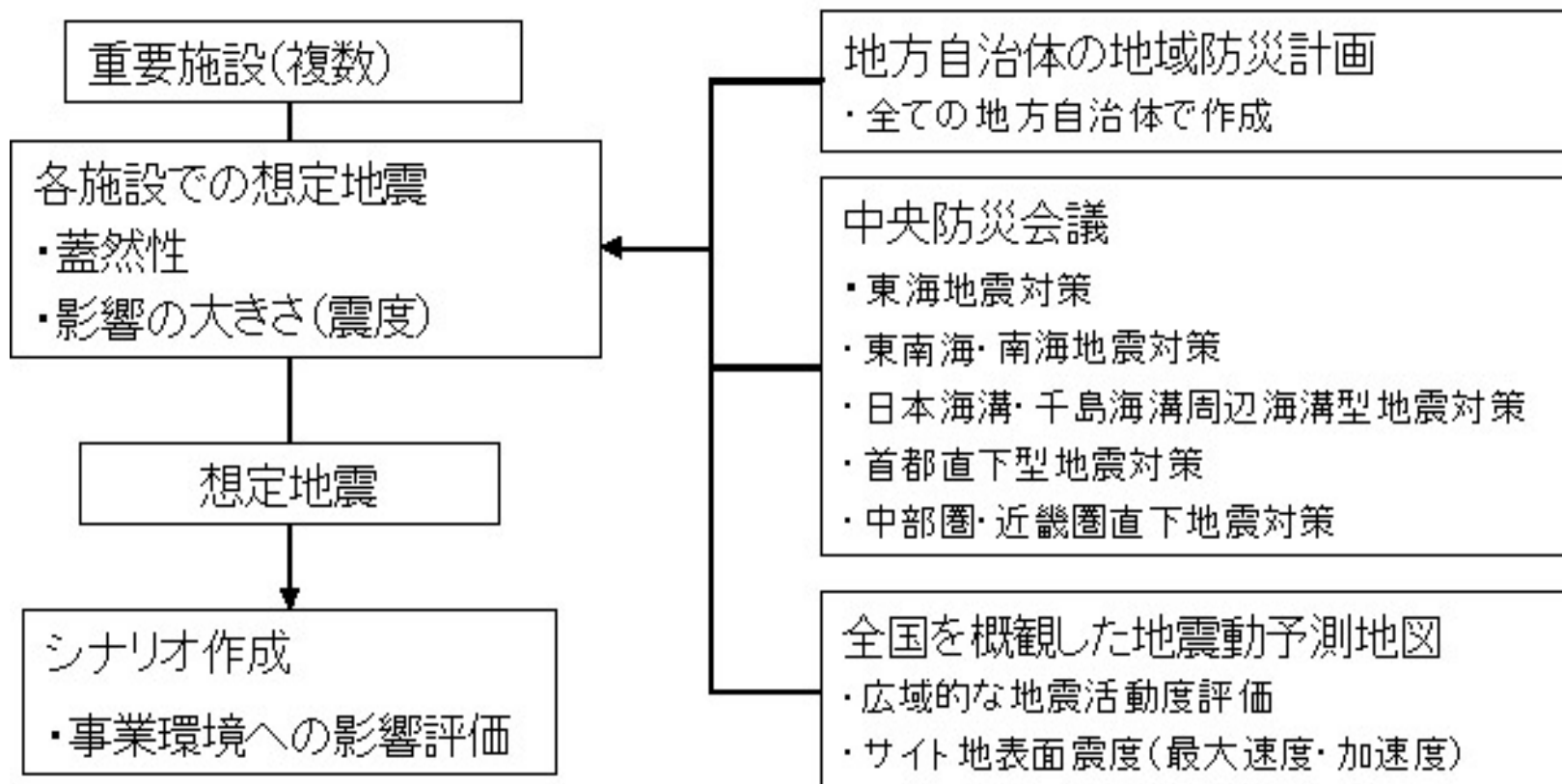
目標復旧時間を確保するために、施設・設備等が重要な要素(ボトルネック)となるか検討している。

目標復旧時間が経営戦略の観点で認定されている。

被害予測・シナリオ想定

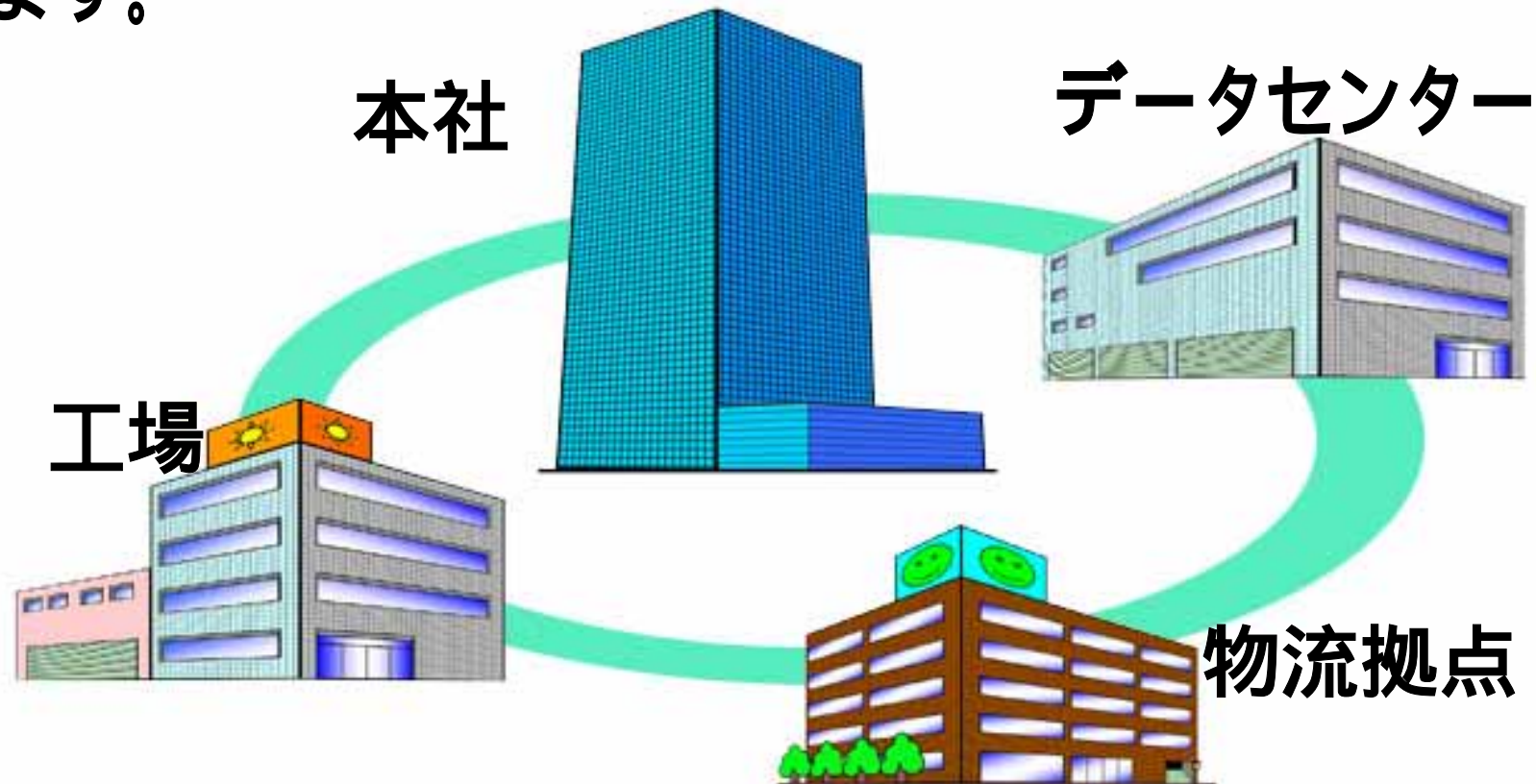
事前対策を検討する上で、リスクの選定や被害の想定など「シナリオ」を想定しておく必要があります。顕在化するリスクの種類、被害の想定と時間的推移などを想定し、その経過に対応できる「事業継続計画」を作成する必要があります。

公開されている資料(WEBで検索可能)



被害予測・施設の被害想定

施設の耐震性・事業継続は、単独ではなく業務に関係する施設全てのバランスを考慮する必要があります。



被害予測・チェックリスト

検討対象とする災害が特定されている。

重要業務のプロセスが確認されている。

重要業務を実施する施設・設備が業務全体形として確認されている。

施設・設備の影響を評価するための情報(図面など)が確保されている。

特定した災害に対する被災状況をより具体的なシナリオにし、施設・設備等の機能停止状況とその事業への影響を評価している。

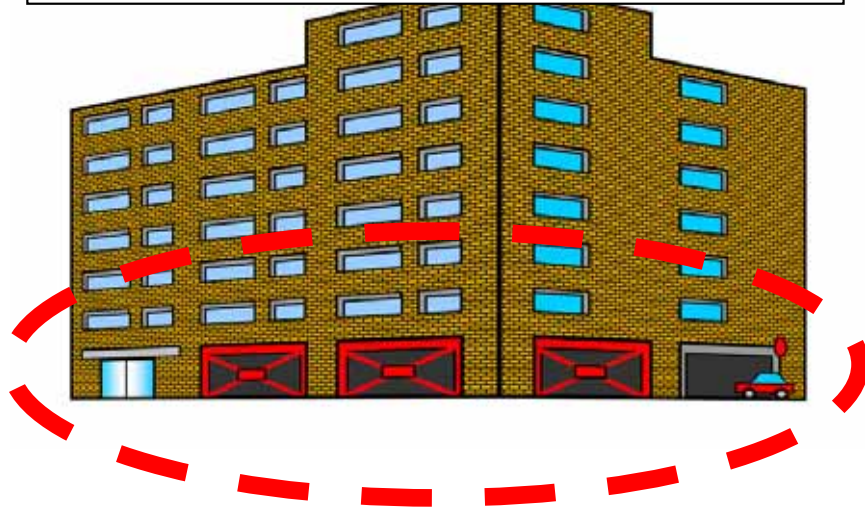
被害想定を行うための情報収集と専門家の協力体制が適切化されている。

情報システム全体ネットワークの耐震性の評価・向上やセキュリティ性能の評価を実施している。

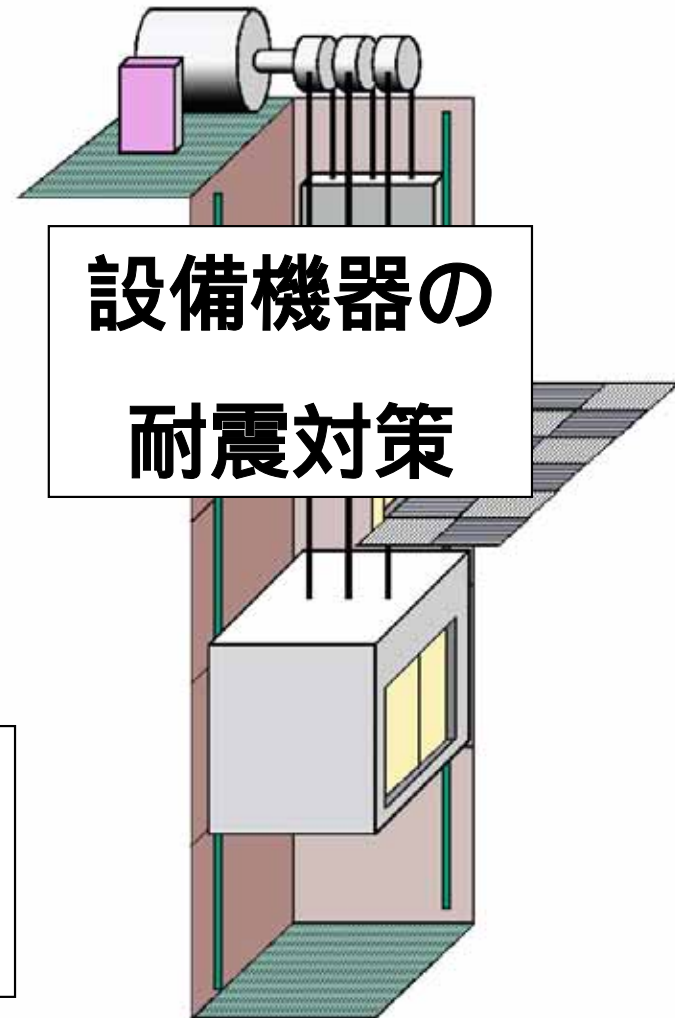
想定した被害全体が事業に与える影響度を必要復旧時間として評価している。

対策の実施と評価・対策の実施

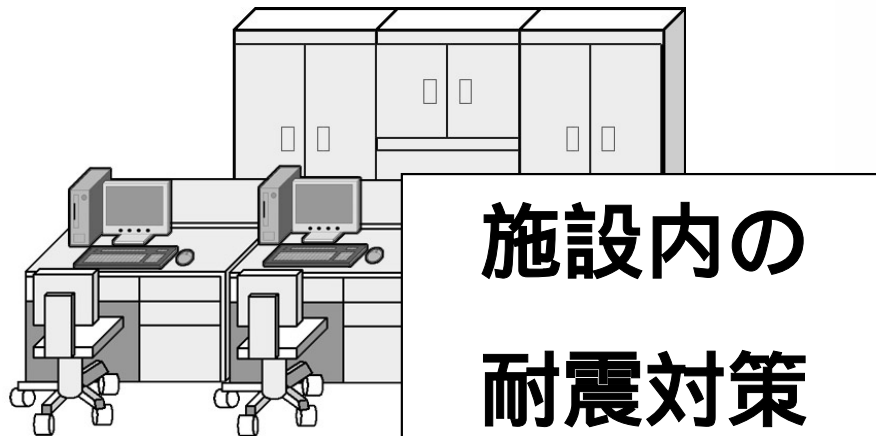
施設の耐震補強



設備機器の耐震対策

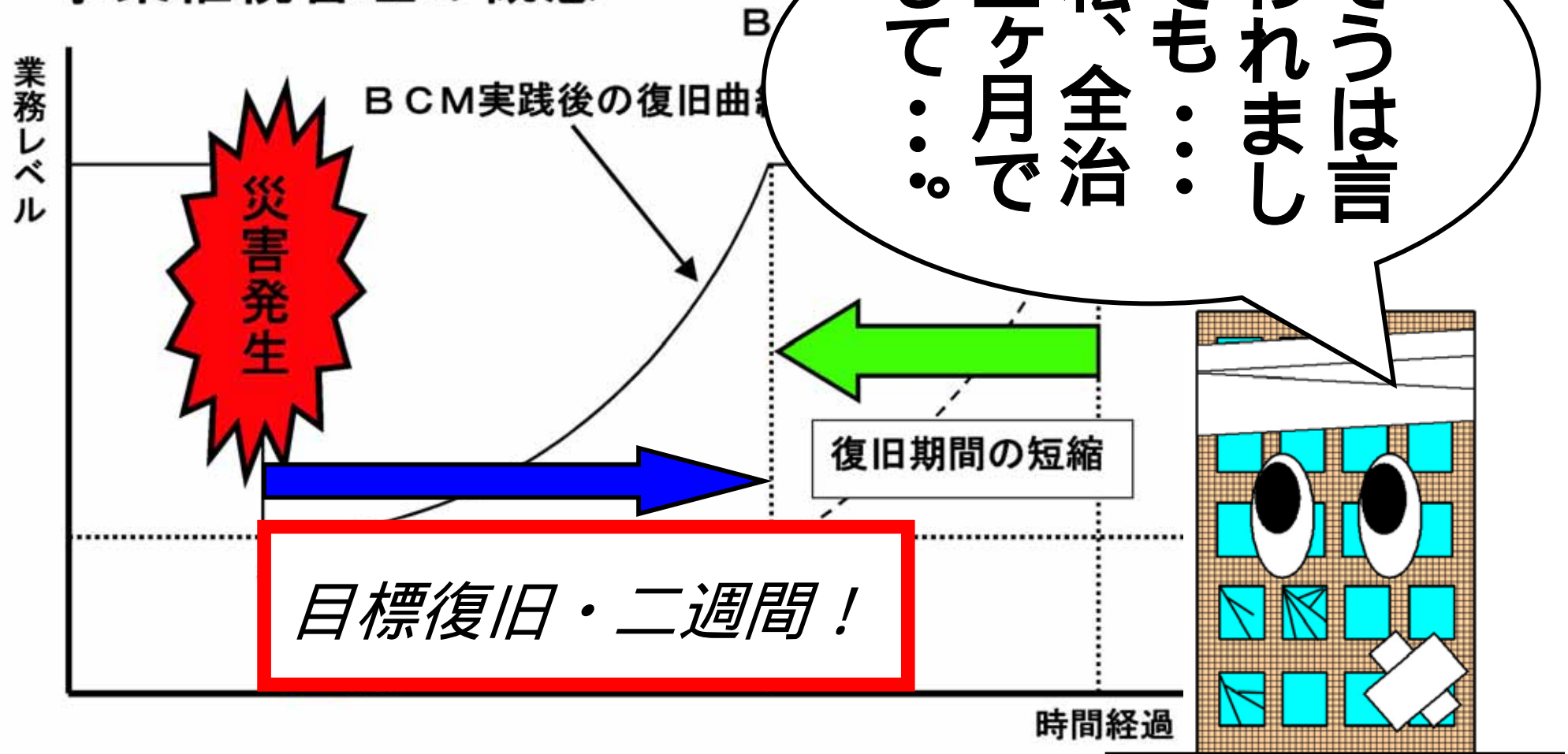


施設内の耐震対策



対策の実施と評価・目標復旧時間

事業継続管理の概念



対策の実施と評価・チェックリスト

目標復旧時間と対策前の必要復旧時間が確認されている。

対策を検討するための社内外の協力体制が確立されている。

費用対効果を考慮して対策の評価を行い、優先順位付けされている。

被害が想定される施設・設備に対して減災計画が策定され、行われている。

事業継続計画実施において必要となる施設・設備等について整備されている。

事業継続計画を年度別の施設改善計画に反映させている。

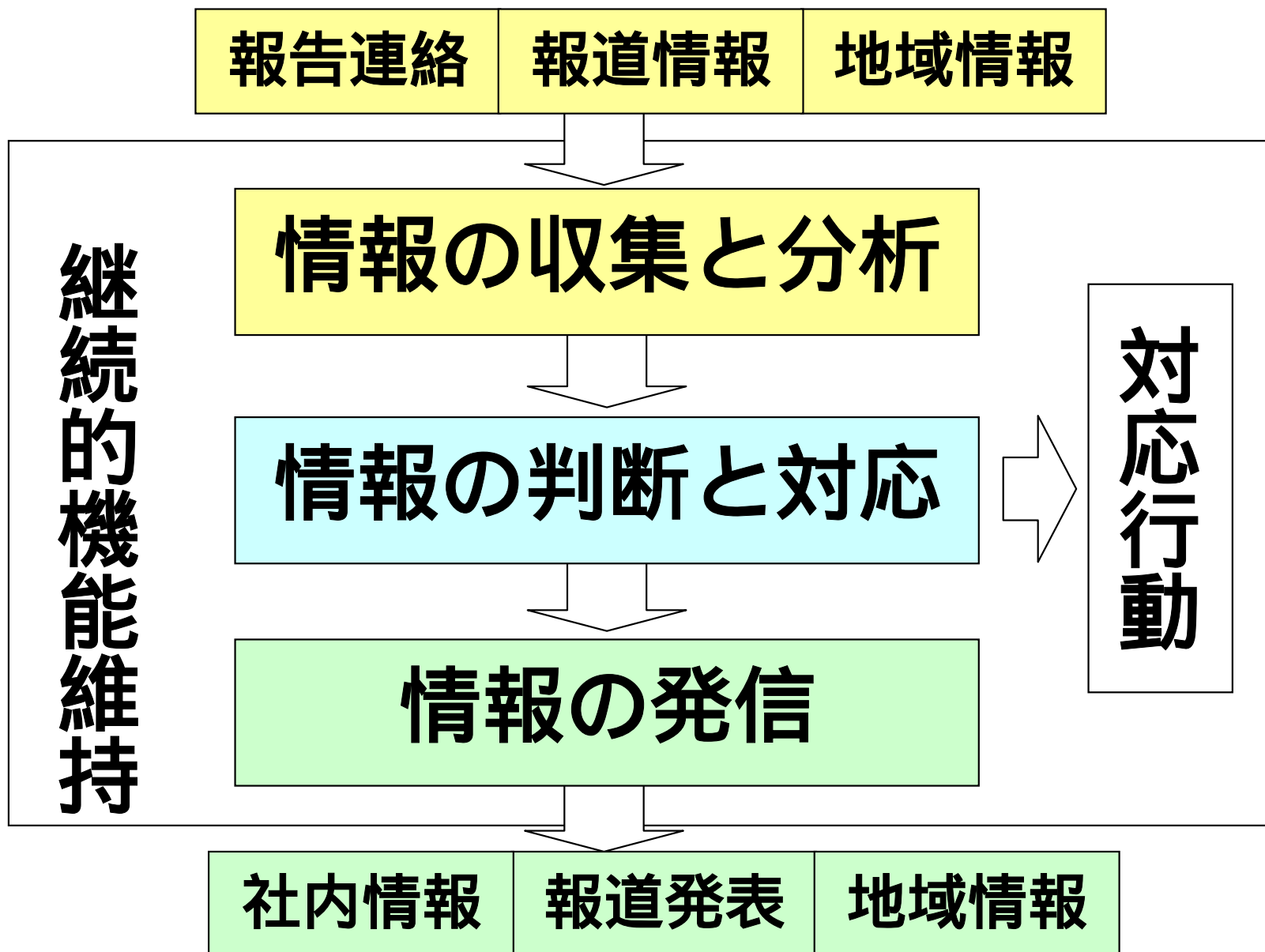
事業継続計画に関連する施設・設備の項目について予算化されている。

上記の対策実施により、目標復旧時間を満たすことが確認されている(満たさない場合は目標復旧時間の設定に戻る)。

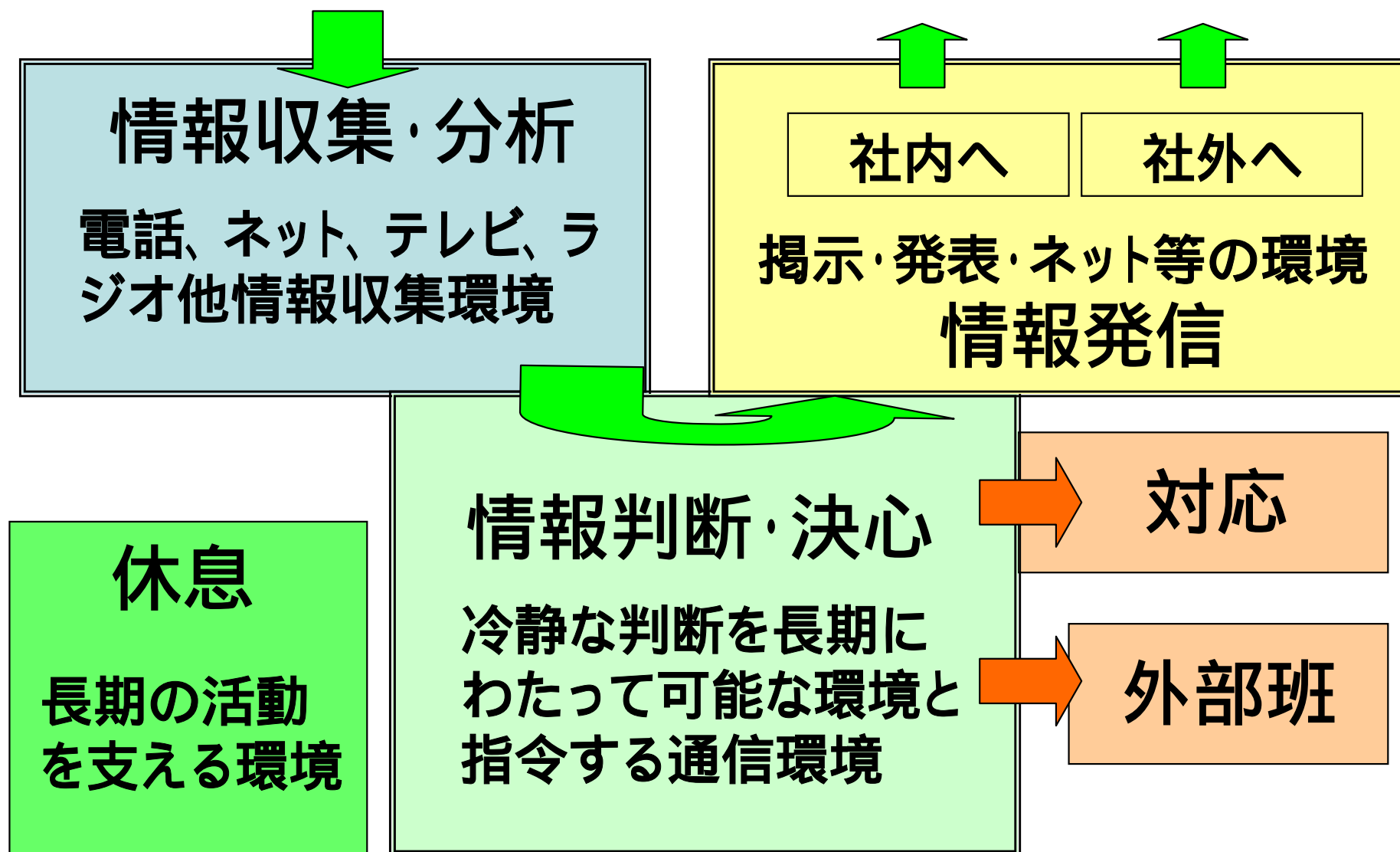
災害発生後の対応・初動

- 発災時の施設の被害状況把握と情報の共有化
- 施設設備による二次災害防止の対応
- 建物の保護、立ち入り許可・禁止の判断や確認
- インフラの被災状況と復旧に関する情報収集
- 地域への情報開示・危険周知・避難要請、行政等関係機関 の連絡・連携
- 重要業務の代替への切替へ判断に必要な情報の提供
- 代替施設のセッティング

災害発生後の対応・災害対策本部



災害発生後の対応・対策本部



災害発生後の対応・チェックリスト

災害時の初動体制において、施設・設備部門が即応する対応計画が定められている。

夜間休日等における対応計画が定められている。

災害発生時において本社等重要拠点の機能確保がなされている。

災害対策本部機能など、重要業務とは別に被災時に特に必要となる機能について必要な施設・設備等が確認されている。

災害時においても指揮命令システムを機能させるための通信インフラが確保されている。

施設の安全性を確認する手順が明確になっている。

後方支援に必要な施設・設備が検討され、確保されている。

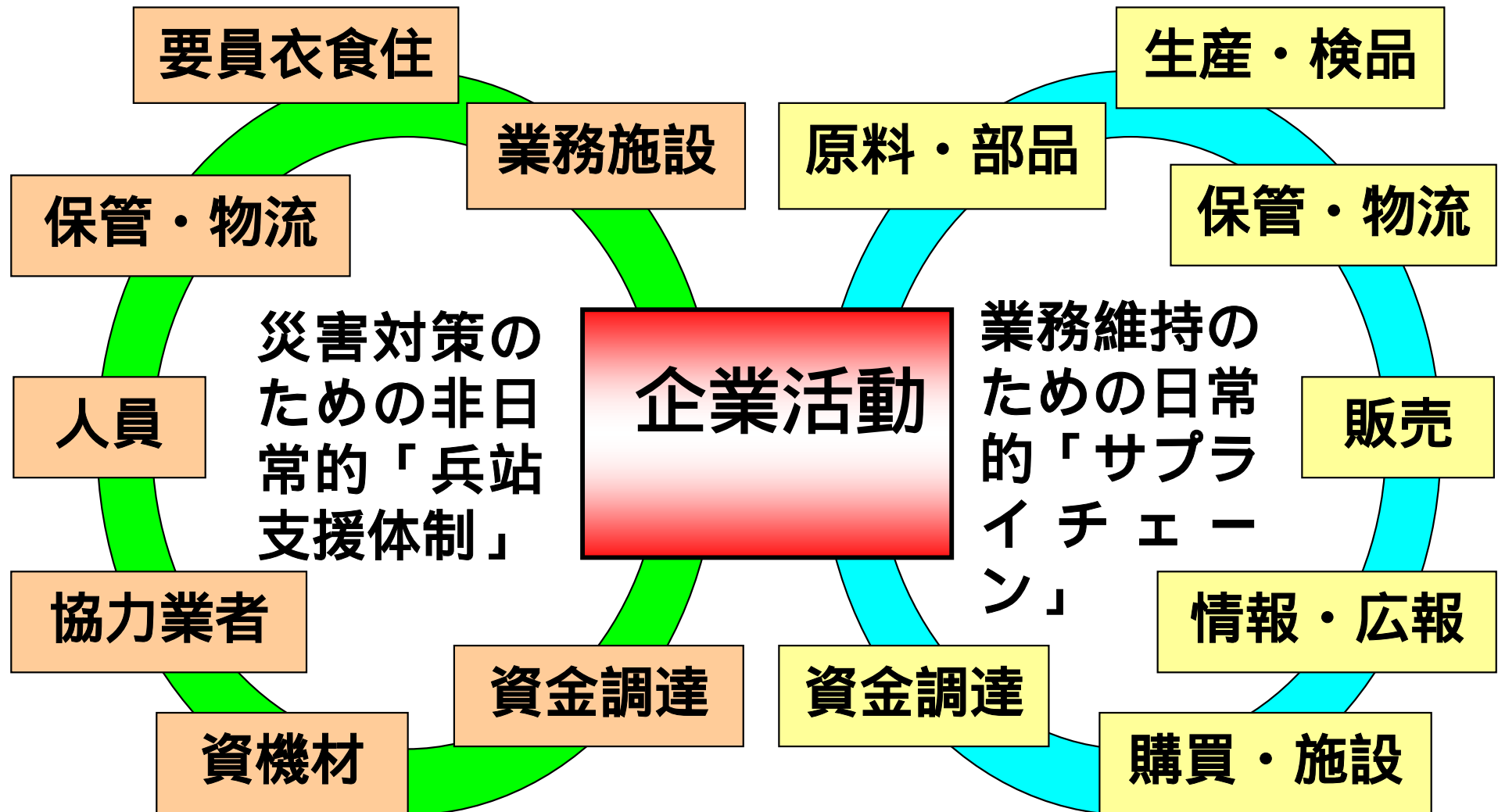
対外的な情報発信および情報共有において、組織のクライシスコミュニケーションを維持する施設・設備等が確保されている。

万一の場合の本社機能等の代替拠点が複数確保されている。

救護所の場所が複数箇所想定されている。

被災者の救護用機材、A E D等の救命機材が確保されている。

業務再開・業務復旧段階



業務再開・業務復旧段階

災害対策本部

意思決定位置
の前進

物資の集積

現地調達

物資の一時保管

前進本部

意思疎通

現地要員の休養

現地本部・復旧要
員のリフレッシュ

必要物資の
補給

災害現地本部

業務再開・業務復旧段階の業務・ チェックリスト

「共助・相互・扶助」について地域と協議・検討している。

サプライチェーンや、復旧対応業者等と対応計画について協定を結んでいる。

復旧に必要な施設情報(図面等)が確保されている。

業務復旧作業に従事する要員の宿舎が確保されている。

業務復旧作業に従事する要員の非常食・飲料水等が確保されている。

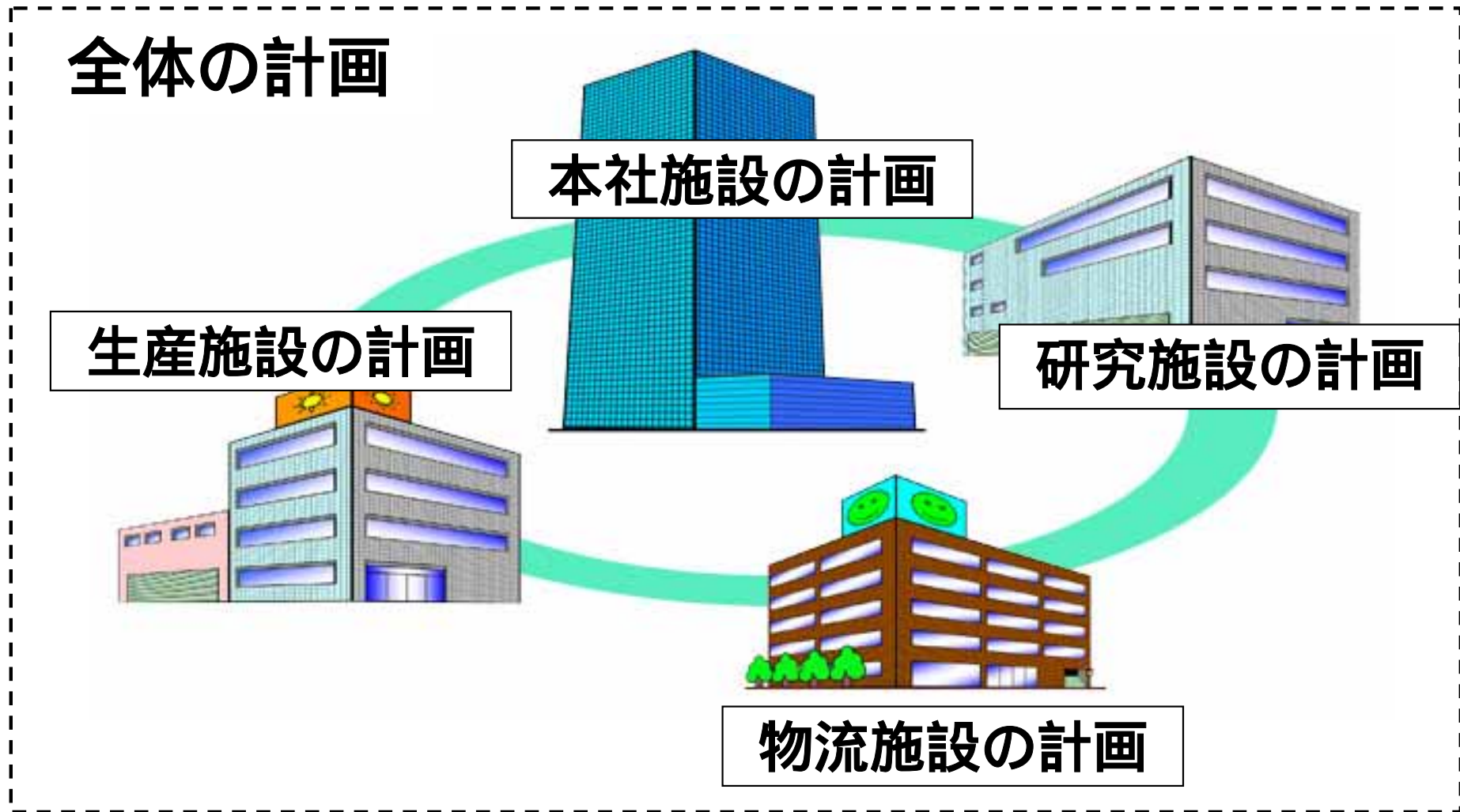
業務復旧作業に従事する要員の災害時に使用する生活用品、資機材が確保されている。

業務復旧作業に従事する要員の仮設トイレ等が確保されている。

通勤手段と交代要員の後方支援施設等についても検討されている。

復旧状況や今後の見通しなどを迅速に確認・情報共有できるようになっている。

計画書・BCPの作成



計画書・マニュアルの作成

災害が発生した場合の施設・設備等に関する「災害時チェックリスト」が策定されている。

発災時において発動する対応計画については、具体的手順を記載したマニュアルを策定している。

施設・設備等に被害が確認された場合の連絡体制が策定されている。

施設・設備等に被害が確認された場合の対応計画が策定されている。

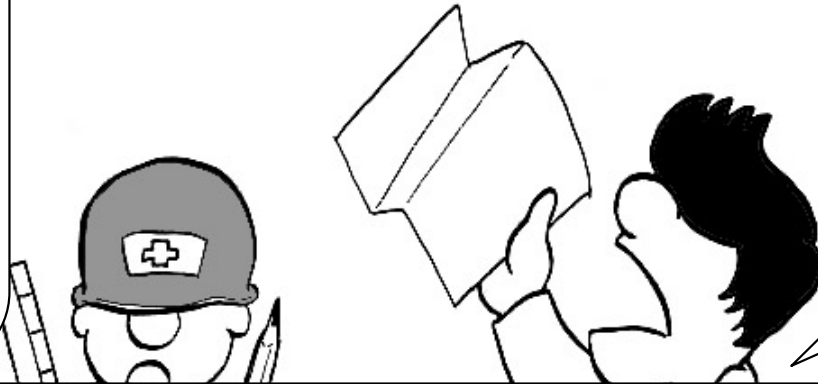
「避難者へ自社の敷地や建物の一部を開放する」場合の意思決定権限者・開放範囲・期間等について対応計画が策定されている。

従業員の居住環境についても適切なリスク減災対策が実施されている。

施設の被害想定や復旧に必要な情報(マニュアル・チェックリスト・施設の図面など)が常に最新の状態に維持されている。

フォロー・教育訓練・図面準備

停電で、PC
もモニターも使
えませんが、
手作業です。

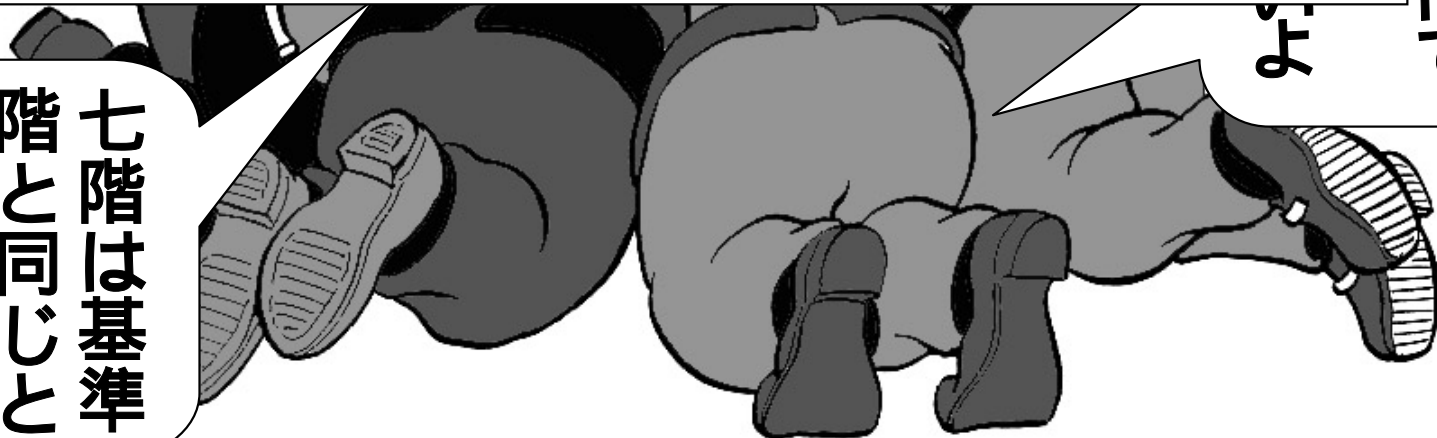


誰かこの図
面、モニター
して大きく
してくれ。

「書き込みができる全体図」
「専有部間仕切りが判るフロア図」

おいその
手をどけて

七階は基準
階と同じと
は言っても、
間仕切りが
違うだろ。



フォロー・チェックリスト

人員の安否確認方法が確立されている。

適切な教育・訓練が実施されている。

定期的に計画の実施状況等を点検し、是正されている。